

△トラバタンズ点眼液 [外]

【重要度】 【一般製剤名】トラボプロスト (U) Travoprost 【分類】緑内障治療薬 (PGF2 α 類縁物質)

【単位】 Δ 0.004% [1本 2.5mL] <藤井寺のみ>

【常用量】1回1滴, 1日1回

【用法】1日1回以上点眼しない

【透析患者への投与方法】常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量 (5)

【特徴】FP受容体に対して選択的に作用するフルアゴニストで、主にぶどう膜剣状筋流出路から排出される房水流出を促進する。エステル型のプロドラッグで、角膜通過の際にエステラーゼにより加水分解されて活性代謝物のトラボプロスト遊離酸となる。防腐剤として塩化ベンザルコニウムを含有しない。代わりに亜鉛イオン、ホウ酸、ソルビトールからなる緩衝系の保存効力を有している。

【主な副作用・毒性】虹彩色素沈着, 眼瞼色素沈着, 眼の充血, 眼周囲の多毛, 結膜炎, 頭痛, 徐脈など

【吸収】点眼後吸収される (U)

【代謝】エステラーゼで加水分解され、活性体の遊離酸になる (U) 遊離酸は全身吸収され、酸化、カルボン酸の還元などで不活性体に変換される (U) 内因性プロスタグランジン F2 α と同様の代謝経路に従うと推測 (1)

【排泄】尿中回収率1%未満 [7日間点眼] (1)

【t1/2】1hr 後には検出できなくなる (U)

【蛋白結合率】83.5% (1)

【Vd】7.5L/kg (1)

【MW】500.55

【透析性】資料なし (1)

【O/W 係数】1000 以上 [1-オクタノール/リン酸buffer, pH7.0] (1)

【備考】緑内障点眼薬のうち、 β 遮断薬は夜間に効果が減弱するため朝 (PG 製剤との間隔を開ける意味もある) に、PG 製剤は眼瞼色素沈着を避けるために夜入浴直前の点眼がよいとされている。

【更新日】20220507

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。